

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	Cash for Work みやぎ II
事業名(副) <small>※任意</small>	「コロナ後の成長分野を見据えた就労支援」

入力数 主 19 字 副 20 字

実行団体名	特定非営利活動法人Switch
資金分配団体名	新型コロナウイルスの影響により仕事を失った若者支援のためのコンソーシアム

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 発達障害や精神疾患の傾向があるが、未治療、あるいは医療、福祉サービスに繋がれず制度の外で生活する若者
------------------------	--

入力数 50 字

**SDGsとの関連**

ゴール
_1.貧困をなくそう
_3.すべての人に健康と福祉を
_8.働きがいも経済成長も
_9.産業と技術革新の基盤をつくろう
_10.人や国の不平等をなくそう

実施時期	2020年10月 ~ 2022年 1月	事業 対象地域	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> 宮城県 )	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	新型コロナウイルスにより収入が減少、あるいは職や住居を失った45歳未満の若者。	事業 対象者人数	30名~90名。全員が6か月受益した場合の最低値が30名。
------	---------------------	------------	---	---------------------------------------	---	-------------	-------------------------------

**I. 団体の社会的役割**

<b>(1)申請団体の目的</b>
この法人は、障がいをもつ方、および就労に課題を抱える方々が就学・就労に希望を持って臨んでいける機会を提供することを目的とし、広く教育現場、企業や行政とのパートナーシップの形成を促進しながら、伴走型の就労支援やインターン、中間的就労の場の創出などの活動基盤の強化に取り組む。さらに医療・福祉及び地域との連携を図りながら、彼らの自己実現へ向けた活動への理解促進を図るための啓発に寄与することを目的とする。
<b>(2)申請団体の概要・事業内容等</b>
・障害者総合支援法に関する事業 ① 自立訓練（生活訓練）② 就労移行支援事業 ・障害者就労定着支援事業（ジョブコーチ支援・フォローアップ支援） ・就学・就労支援事業 ・委託相談支援事業 ・研究事業（障がい者の理解促進を図る啓発活動、調査研究および政策提言に係る事業） ・研修事業（マネージメントサポート・講演会・ボランティア養成） ・インターンシップ事業 ・教育事業 ・有料職業紹介事業

入力数 (1) 200 字 (2) 195 字

**II. 事業の背景・社会課題**

<b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b>
新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活は大きな変化を余儀なくされている。特に雇用を中心とした生活様式や経済活動の変化は、若者たちの自己有用感を低下させ、彼らの活動に大きな影を落としている。 「宮城労働局7月31日現在雇用状況」によると、宮城県の6月の求人倍率は1.21倍で、昨年の1.6倍前後の推移から見ると雇用の急激かつ大幅な悪化が見て取れる。 地域別では、沿岸部の塩釜の0.71倍や、内陸部の迫の0.66倍、古川の0.94倍、県南内陸の0.73倍など仙台経済圏の周辺域での雇用悪化が顕著である。 また、東北経済の中心地である仙台経済圏は、サービス業や小売業、飲食業が中心の経済構造と言う事もあり学生、パートタイムを含む若年者の雇用は極めて不安定な局面にある。 このような状況のなか就労課題を抱えた若者は仙台や石巻等、人口集中エリアに職を求めて集まっており、彼らには2つの傾向がある。 ひとつは比較的若い層の大学生や既卒3年程度の若者で、アルバイトや派遣など不安定な雇用の中で就労を続けてきたが、今回大幅に収入が減少した層。 もう一方は、20代後半から40代、これまで製造業や飲食業にてキャリアを築いてきたが、今回の件で収入減少、あるいは派遣会社で契約していた住居も失い、今後を見通せなくなった層である。 前者については将来の安定的な就労に向けての早急なキャリア形成が必要であり、後者については、住居、金銭などのサポートも含めて喫緊な就労を目指す必要がある。 同時に農業、漁業などの第一次産業は、もともと人材が不足していたと言う事と、外国人技能実習生の帰国などの要因が重なり、慢性的な人手不足が予想されている。同時にITサービスや、非対面型の販売、イベント企画、映像配信などの事業については、もともとの人材不足とコロナによるニーズの高まりに、人材の供給が追いついていない状況である。

入力数 800 字

### III.事業内容

#### (1)具体的な就労支援対象者

支援対象者は以下の2つの層を想定

① 18歳～25歳（高校中退、大学生や既卒3年目までを含む）

アルバイトや派遣など不安定な非常勤雇用の環境にあったが、新型コロナウイルスの影響でシフトの減少や雇止めとなり困窮予備軍となったそう。

② 20代～40代

これまで製造業や飲食業などに従事しながらキャリアを築いてきたが、新型コロナの影響で勤務日数の大幅な減少や雇止めとなり、住居や食料にまで困窮し始めた層。

入力数 200 字

#### (2)就労支援プログラムの構成と支援対象者に対する効果

##### ■農業関連

・農業については、作業することそのものが本人たちの意欲ややりがいを直接的に感じる事が出来るため、積極的展開する。訓練の仕立ては大きく3方向で考えており、農作業の実施、地域づくり、販路拡大の3方向で想定している。実習場所は石巻市の能担い手育成機関、イシノマキファームにて農業指導を実施し、IT関連の作業は仙台を想定している。

① 定期的な農業体験実習を実施。

② 震災後の農業と、石巻市北上地区における地域づくりについて学ぶ。

③ ICTを活用した農産物の販路拡大について学ぶ。ITチームと連携し事業化を検討する。

##### ■IT関連

・IT関連については、打診済の仙台市内の2つの企業（Web制作、DTP関連企業と、プライダル関連企業）と連携し以下の2つの方向性での職業体験の場を創出する

① 企業に出向き、実際の職場の中でIT関連スキルの習得を目指す

② 企業からの請負業務をオンラインでいただき、今回設置予定の事業所にて処理、作成、データ納品作業を行う。

③ 仙台でリストラの続く結婚式場の映像作成業界で雇用が停止した層のスキルを活かし、今後急拡大する映像編集事業に取り組む。

④ その他地域からのテレワーク委託案件を収集し、事業所にて処理、作成、データ納品作業を行う。

⑤ フリーランスのIT関連サイトにて業務の検索を行い、個々で業務の受注が可能なレベルを目指す。

##### ■就労支援

実際の就職活動の支援については、現在当法人で展開している若者支援事業「ユースサポートカレッジ仙台NOTE」「ユースサポートカレッジ石巻NOTE」事業にて、個別に就労サポートを展開する。

入力数 688 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
・18名の若者に対し、80%以上の労働市場への参加と、経済的な自立を目指す。労働市場への参加の定義とは、正規雇用、非正規雇用、フリーランス、起業、就農、などを含む。 ・18名の若者が自己有用感の改善と幸福感を獲得することを目標とする。	・就職だけに頼らない自己実現の指標を今回の事業の中で実現する。評価指標の基本は「社会的インパクト評価ツールキット」をベースに作成する。 ・「ローゼンバーグ自尊感情尺度」を取り入れ、本人の自己有用感の指標の測定を行う。	・紙ベースでのアンケートをスタート時、終了時に回答いただき、事業期間での本人の変化を評価する。 ・Googleフォームでのアンケートも策定し、評価システムの汎用性を高める。	・事業期間内の労働市場参加率80%以上（残20%は継続フォローする） ・本人の事業に参加する前と参加後の変化で、改善率が60%以上 ・ローゼンバーグ自尊感情尺度」にて、事業に参加する前と参加後の変化で、改善率が60%以上	2021年9月30日

#### (4)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態

・宮城県において、事業の成果として18名以上の若者が、新型コロナの影響によるそれぞれの課題を解決し、80%以上の若者が自尊心を保ちながら労働市場に参加することが出来ている。

・「就職」だけではない、フリーランスや在宅、就農など、多様な働き方があることを彼ら自身が理解し、それらの働き方に必要なスキルを知り、本当に自分が望む未来に向けて一歩を踏み出すことが出来る状態。

・他地域、他団体へのノウハウ移管

入力数 200 字

(5)スケジュール	時期
事業スタート。仙台市にて事務所を確保。環境整備、人材採用を開始、10月中旬採用コーディネーター稼働。中間就労募集告知を開始。成果指標の検討を開始。	2020年10月
農業分野における中間就労をスタート。同時にIT分野の中間就労の場を企業と調整開始。仙台地区でのIT関連中間就労の場を創出。これまで実施してきたOffice関連の訓練に加え、WEBや映像編集、初歩的なコーディングなど、ITスキル向上のための訓練実習も開始する。	2020年11月
農業分野中間就労継続。漁業関連の中間就労の企業との調整を開始。IT関連、その他産業の企業での中間就労を開始。	2020年12月
IT関連の分野において、テレワークの中間就労の可能性を模索開始。伴走支援を受けながら在宅ではなく事業所内でのテレワークを準備。	2021年1月
テレワーク分野での中間就労を開始する。	2021年2月
対象者の入れ替わり開始。中間終了後の就労や企業の流れを個別に確認。春からタイミングでの持続的な就業を目指す。	2021年3月
農作業の活発なシーズンになるため農業中間就労を拡大。	2021年4月
IT関連の分野において、事業化の可能性を模索。企業連携の中で見えてきた可能性を検証し、フリーランス的な就労の可能性を探る。	2021年5月
農業、漁業分野において、本格的な就農希望者のニーズを探り、移住も含め検討する。	2021年6月
農業、漁業とIT関連産業の接点を模索。	2021年7月
事業の一旦の終結に向けた準備を開始。	2021年8月
IT関連の就労を希望する層に向けて、本格的にWEBデザイン関連のトレーニングを受けながら実践的な訓練を実施する。	2021年9月
農業分野とIT分野の若者の有機的な接続を図る	2021年10月
前期で就職や起業した若者の成功事例の共有を図る	2021年11月
事業終了に向けて、終了後の就職や起業について個別伴走型のサポートを実施する。	2021年12月
事業の一旦の終結に向けた準備を開始。	2022年1月

#### IV.事業実施体制

<p><b>(1)メンバー構成と各メンバーの役割 (資格、経験年数を含む)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業統括：当法人理事：2000年より20年間、若年者の就労支援に従事。一般求人への就労支援のみならず、障害者求人への対応や触法系の就労支援にも関わる。</li> <li>・キャリア支援：当法人理事：2001年より19年間若年者の就労支援に従事。キャリアコンサルティング技能士、国家資格キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、ポジティブ心理学コンサルタント</li> <li>・コーディネーター：当法人スタッフ：若年者のメンタルケアの分野を中心に、就労支援に従事。精神保健福祉士</li> <li>・コーディネーター：当法人スタッフ：民間企業にて人材育成に従事。現在は若者の就労支援事業にて、高校生～成人の就労支援に従事。</li> <li>・コーディネーター：新規採用スタッフ（若年就労支援分野で15年程度経験のある人材を想定）</li> <li>・農業指導：一般社団法人イシノマキファーム 農業指導員</li> </ul>
<p><b>(2)他団体との連携体制</b></p>	<p>特定非営利活動法人Switchと、一般社団法人イシノマキファームは、これまでも連携にて就労支援を行ってきたが、今回の事業を機会に、農業分野における中間就労の連携体制を構築する。</p> <p>また今回の事業で宮城県内外のIT関連企業での実習の拡大を目指している。就労だけではなく、テレワークや企業も含めて、IT関連業界との接点を模索し、中長期的に本人のキャリア形成に有効なマッチングを目指す。</p>
<p><b>(3)想定されるリスクと管理体制</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保の部分で、新規採用のコーディネーターの募集～採用までの時間がかかる可能性があるため、早急な採用活動を目指す。</li> <li>・今後新型コロナの感染が大きく拡大した場合に、企業や実習先の企業での受け入れが減少する恐れがあるため、事業期間前半での早いサイクルでの稼働を目指す。</li> </ul>

#### V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無				
新型コロナウイルス感染症に係る事業				
<p>①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)</p>	<p>有 <input type="checkbox"/></p>	<p>無 <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>有の場合 その詳細</p>	
<p>②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない</p>	<p>無 <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）</p>		
(2)申請事業に関連する実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「フィッシュファミリー財団のJWLI緊急支援FUND」新型コロナ後の在宅でのメンタル不調や就労課題に対応するため、オンラインメンタルヘルズ講座のライブ配信と、オンデマンド配信を実施。仙台市～静岡市まで、参加者109名</li> <li>・ユースサポートカレッジ仙台NOTE、ユースサポートカレッジ石巻NOTEを展開。2020年度はJcoin基金と年賀助成金、ソフトバンクチャリティホワイト助成にて運営</li> <li>・石巻圏域子ども若者コンソーシアムに参加；石巻圏域におけるアウトリーチを含めた個別伴走支援を実施。</li> <li>・宮城県委託事業若者心の支援モデル事業を実施。大学生を中心としたメンタルケアとゲートキーパーの養成、大学連携に取り組む</li> </ul>				